

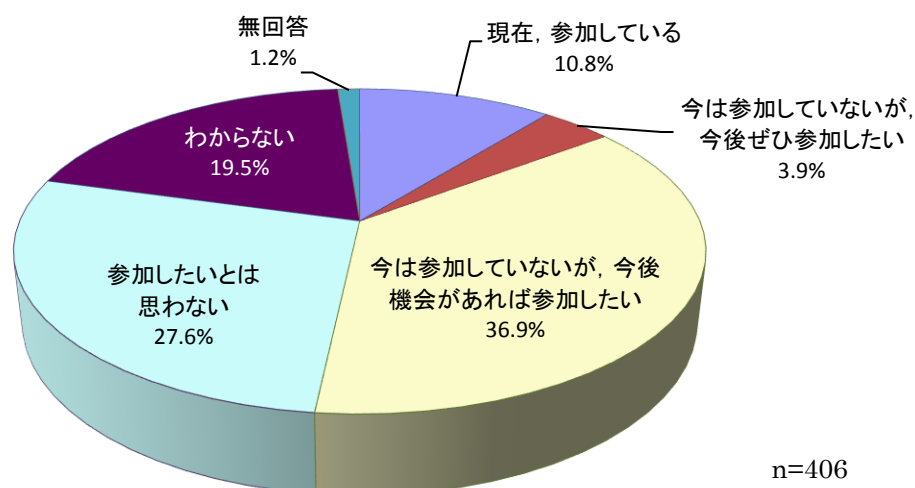
1.1. 市民活動への参加意識について

(1) 市民活動への参加状況

◇ 「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が4割弱

問3 5	あなたは「※市民活動」に参加したいと思いますか。 ※市民活動とは、ボランティアをはじめとする自主的で営利を目的としない社会貢献のことです。 (○は1つ)	n=406
1	現在、参加している	10.8%
2	今は参加していないが、今後ぜひ参加したい	3.9%
3	今は参加していないが、今後機会があれば参加したい	36.9%
4	参加したいとは思わない	27.6%
5	わからない	19.5%
	(無回答)	1.2%

<図IV-11-1>全体



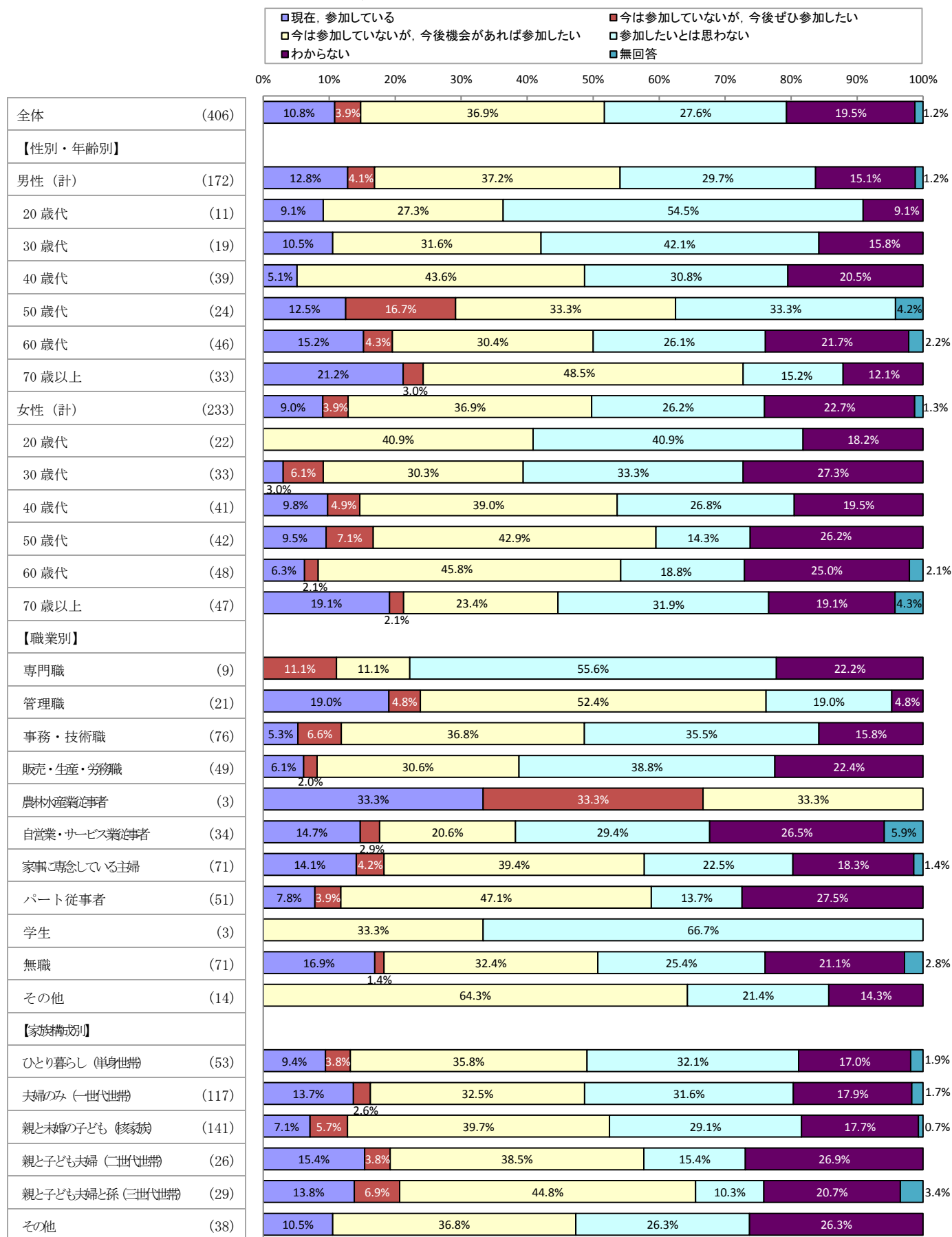
市民活動への参加状況については、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が36.9%で最も高く、次いで「参加したいとは思わない」が27.6%であった。(図IV-11-1)

性別・年齢別で見ると、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」は<男性/70歳以上>が48.5%で最も高く、「参加したいとは思わない」は<男性/20歳代>が54.5%で最も高かった。(図IV-11-2)

職業別で見ると、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」は<その他>を除くと、<管理職>が52.4%で最も高く、「参加したいとは思わない」は<学生>が66.7%で最も高く、次いで<専門職>が55.6%であった。(図IV-11-2)

家族構成別で見ると、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が44.8%で最も高く、「参加したいとは思わない」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が32.1%で最も高かった。(図IV-11-2)

<図IV-11-2>性別・年齢別/職業別/家族構成別

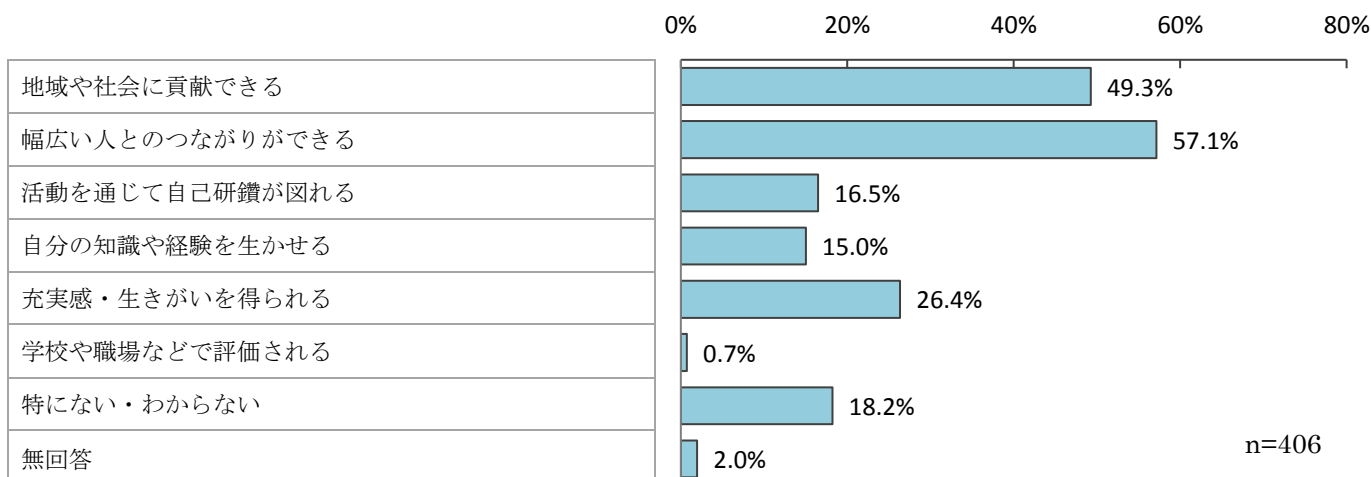


(2) 市民活動へ参加する良さ

◇ 「幅広い人とのつながりができる」が6割弱

問36 市民活動へ参加することは、どのような良さがあると思いますか。(〇はいくつでも)		n=406
1	地域や社会に貢献できる	49.3%
2	幅広い人とのつながりができる	57.1%
3	活動を通じて自己研鑽が図れる	16.5%
4	自分の知識や経験を生かせる	15.0%
5	充実感・生きがいを得られる	26.4%
6	学校や職場などで評価される	0.7%
7	特にない・わからない	18.2%
	(無回答)	2.0%

<図IV-11-3>全体



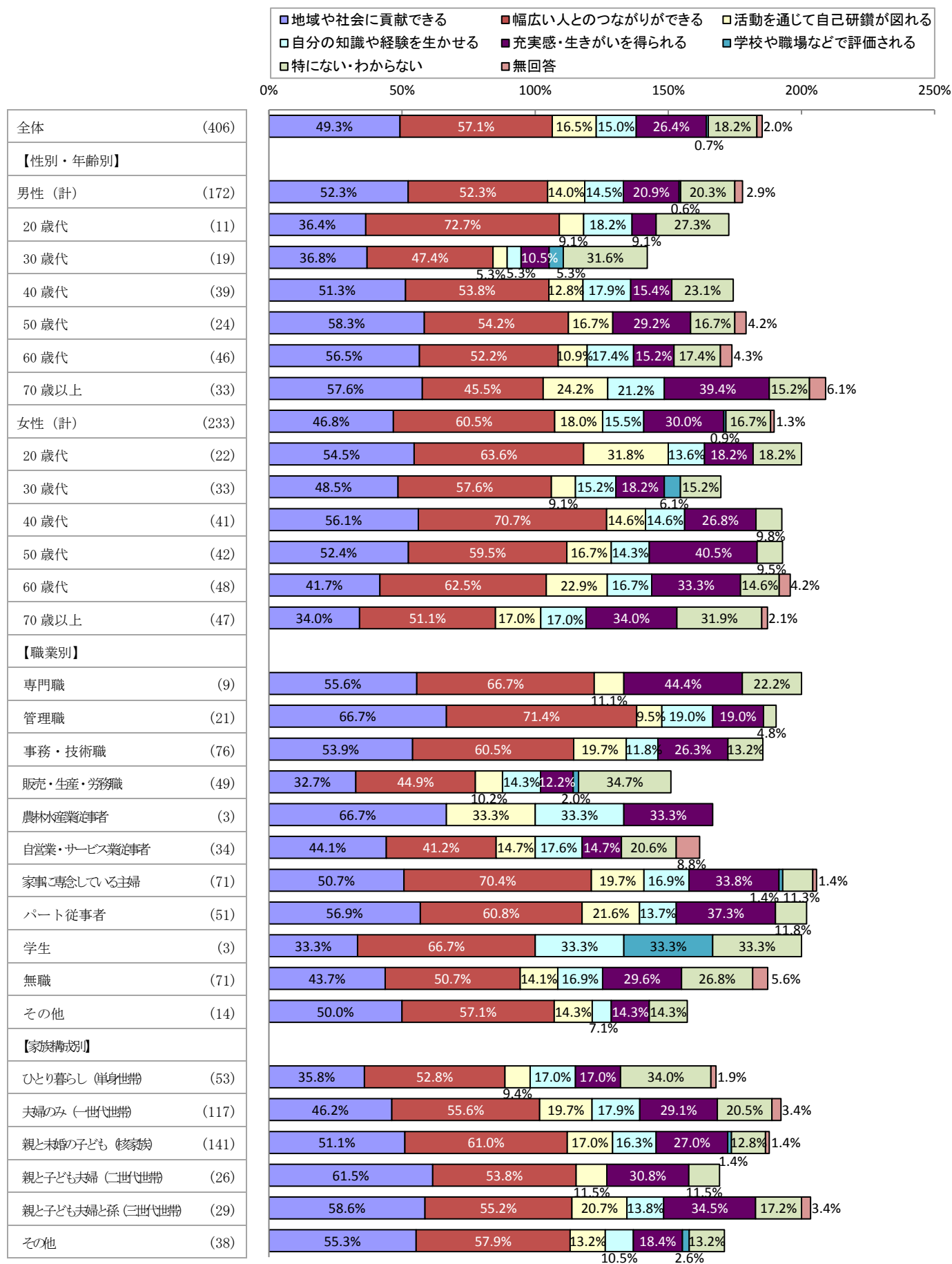
市民活動に参加することはどのような良さがあるかについては、「幅広い人とのつながりができる」が57.1%で最も高く、次いで「地域や社会に貢献できる」が49.3%、「充実感・生きがいを得られる」が26.4%と続いている。(図IV-11-3)

性別・年齢別でみると、「幅広い人とのつながりができる」は<男性/20歳代>が72.7%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が70.7%であった。(図IV-11-4)

職業別でみると、「幅広い人とのつながりができる」は<管理職>が71.4%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦>が70.4%であった。(図IV-11-4)

家族構成別でみると、全体との差はほとんどみられなかった。(図IV-11-4)

<図IV-11-4>性別・年齢別/職業別/家族構成別

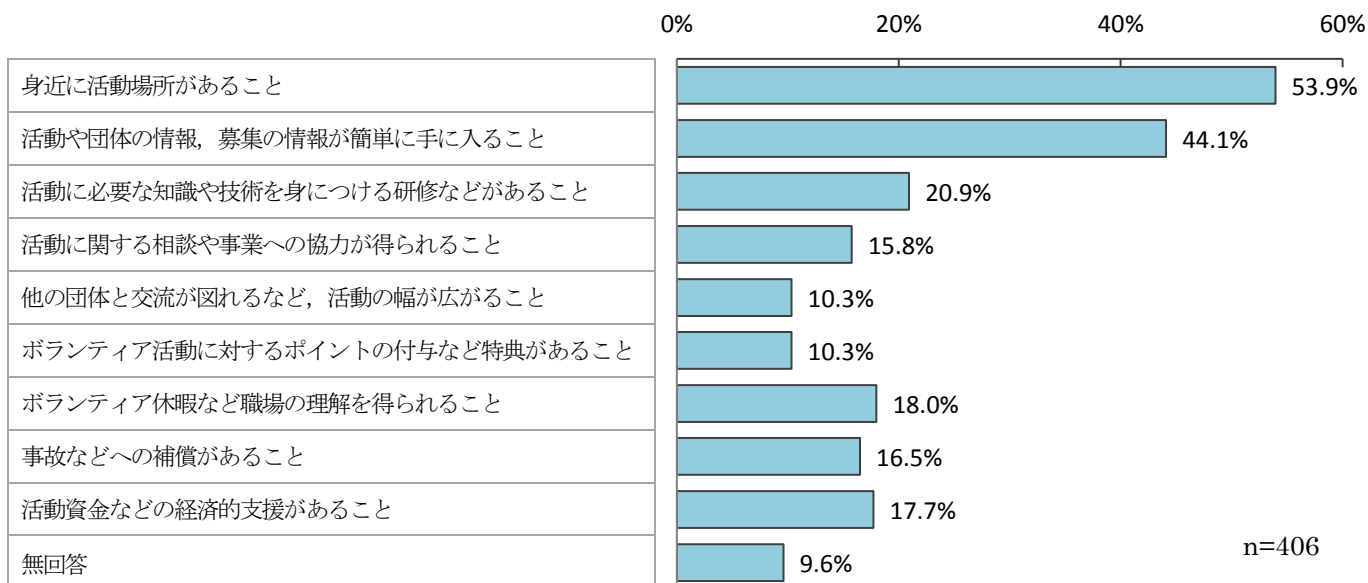


(3) 市民活動を活性化させるために

◇ 「身近に活動場所があること」が5割半ば

問37 市民活動に参加する場合、または、市民活動を活性化させるためには、どのようなことが整えばよいと思いますか。		(〇はいくつでも)
		n=406
1	身近に活動場所があること	53.9%
2	活動や団体の情報、募集の情報が簡単に手に入る事	44.1%
3	活動に必要な知識や技術を身につける研修などがあること	20.9%
4	活動に関する相談や事業への協力が得られること	15.8%
5	他の団体と交流が図れるなど、活動の幅が広がること	10.3%
6	ボランティア活動に対するポイントの付与など特典があること	10.3%
7	ボランティア休暇など職場の理解を得られること	18.0%
8	事故などへの補償があること	16.5%
9	活動資金などの経済的支援があること	17.7%
	(無回答)	9.6%

<図IV-11-5>全体



市民活動を活性化させるために、どのようなことが整えばよいかについては、「身近に活動場所があること」が53.9%で最も高く、次いで「活動や団体の情報、募集の情報が簡単に手に入る事」が44.1%、「活動に必要な知識や技術を身につける研修などがあること」が20.9%と続いている。(図IV-11-5)

家族構成別で見ると、「身近に活動場所があること」では全体との差はほとんどみられなかったが、「活動や団体の情報、募集の情報が簡単に手に入る事」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が65.4%で最も高くなっている。(図IV-11-6)

<図IV-11-6>性別・年齢別/職業別/家族構成別

